

平成28年度 事業報告書

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

社会福祉法人信達福祉会 法人本部
特別養護老人ホームあつかし荘
総合老人福祉施設梁川ホーム
特別養護老人ホーム・デイサービス川俣ホーム

事業報告書 目次

I 法人本部事業報告

- 1 会務運営状況
- 2 本部事業

II 各施設事業報告

- 1 あつかし荘
 - (1) 特別養護老人ホームあつかし荘
あつかし荘短期入所生活介護（ショートステイ）
- 2 梁川ホーム
 - (1) 梁川ホーム全事業
 - (2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム
 - (3) 梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）
 - (4) ケアハウス広瀬
 - (5) 梁川ホーム通所介護（デイサービスセンター）
 - (6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所
 - (7) 伊達市梁川地域包括支援センター
- 3 川俣ホーム
 - (1) 川俣ホーム全事業
 - (2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム
川俣ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）
 - (3) 川俣ホーム通所介護（デイサービスセンター）

III 各施設利用状況等

事業報告の附属明細書

各施設事業月別入所・利用状況

I 法人本部事業報告

1 会務運営状況

(1) 評議員会の開催（4回）

日時	平成28年 5月26日（木）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席評議員数13名、出席監事数2名
議案	27年度事業報告、決算報告 等
日時	平成28年 9月29日（木）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席評議員数14名
議案	特別養護老人ホームあつかし荘増築について
日時	平成28年12月22日（木）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席評議員数14名
議案	定款の一部改正、就業規程の一部改正、補正予算 等
日時	平成28年 3月28日（火）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席評議員数13名
議案	ケアハウス広瀬運営規程の制定、役員等の報酬等に関する規程の一部改正、補正予算、29年度事業計画、当初予算 等

(2) 理事会の開催（7回）

日時	平成28年 4月 1日（金）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数8名、出席監事数2名
議案	理事長の互選、常務理事の任命
日時	平成28年 5月27日（金）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数8名、出席監事数2名
議案	27年度事業報告、決算報告、契約の締結 等
日時	平成28年 8月 2日（火）午後3時30分
場所	ロイヤルホテルほていや 出席理事数8名、出席監事数2名
議案	契約の締結 等
日時	平成28年 9月30日（金）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数8名、出席監事数2名
議案	契約の締結 等
日時	平成28年12月26日（月）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数7名、出席監事数1名
議案	定款の一部改正、定款細則の一部改正、評議員選任・解任委員会の設置について、就業規程の一部改正、補正予算、契約の締結 等

日時	平成29年 1月31日（火）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数8名、出席監事数2名
議案	評議員選任・解任委員の選任、契約の締結 等
日時	平成29年 3月29日（水）午前9時30分
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席理事数7名、出席監事数2名
議案	ケアハウス広瀬運営規程の制定、臨時雇用職員管理規程の一部改正、役員等の報酬等に関する規程の一部改正、補正予算、29年度事業計画、当初予算、苦情解決委員会第三者委員の選任、契約の締結 等

（3）監事会の開催

日時	平成28年 5月17日（火）午前10時
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席監事数2名
内容	（1）事業報告（2）財産目録（3）貸借対照表（4）収支計算書 （5）事業活動計算書

（4）役員研修会

日時	平成28年 8月 2日（火）午後4時20分
場所	ロイヤルホテルほていや 出席理事数8名、出席監事数2名
内容	「社会福祉法人制度改革への対応について」 講師：福島県社会福祉協議会 佐藤一也氏

（5）苦情解決委員会

日時	平成28年 7月 7日（木）午後2時
場所	梁川ホームケアハウス広瀬 出席委員（第三者委員）6名
議案	27年度事業報告、28年度事業計画

（6）評議員選任・解任委員会

日時	平成29年 2月16日（木）午後4時30分
場所	梁川ホーム家族介護者教育室 出席委員4名
議案	評議員の選任

2 本部事業

（1）苦情解決委員会

利用者の権利擁護のために、第三者委員からの意見の聴取及び顧問の弁護士からの法的な助言を得て、苦情等への適切な対応を行った。また、利用者満足度調査などを通じて利用者・家族からの要望等に真摯に対応し、適正なサービス提供に努力した。

（2）社会福祉法人制度改革への対応

改正社会福祉法に基づく社会福祉法人制度改革に迅速に対応し、定款、

定款細則等の一部を改正し、また評議員選任・解任委員会の設置並びに役員報酬等に関する規程の一部を改正した。

(3) 事業の進行管理

介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴い、定款、諸運営規程の一部を改正した。また、平成29年1月1日施行の育児・介護休業法の改正に伴い、関連規程の一部改正を行った。さらに、正職員登用に係る就業規程、臨時雇用職員管理規程の採用条項の見直しを行い、臨時雇用職員のキャリアアップ促進に取り組んだ。

(4) サービス評価事業

3施設間で相互に組織マネジメント及びサービス提供プロセスの状況の評価・分析し、利用者の生活の質及び利用満足度の向上に取り組んだ。また、人材育成の観点から評価委員に若手職員を登用し、他施設のサービス提供内容の評価等を通じて、職員自身の成長の機会とした。

(5) 職員の人材確保と育成

県社協及び労働局等主催の各合同就職説明会への参加、3施設職場見学会の実施、専門学校及び地元高校の訪問を行い、法人施設の魅力を発信し人材確保に努力した。また、介護人材の早期離職の防止と定着促進を図る目的で、新規採用の職員に対し、若手先輩職員がマンツーマンで指導する介護プリセプター制度を導入し、お互いに学びあう環境をつくった。あわせてキャリアパスに基づく職場研修の再構築及び研修に関する職員アンケートの実施並びに研修手帳の作成を行った。

(6) 雇用管理改善の実施

管理・監督職自らが法人・事業所の雇用管理の取り組み課題を発見し、職員が働きやすい、働きがいのある職場づくり及び様々な制度を活かして仕事に専念できる環境づくりを推進するため、雇用管理改善の研修を行った。

(7) 労働安全衛生管理体制の確立

職員のメンタルヘルス不調を未然に防止する一次予防を目的にストレスチェックを実施し、結果通知によるストレスへの気づきに活用した。また、検査の結果心理的な負担の程度が高い者については面接指導申出の勧奨を行った。

(8) 法人経営基盤の安定化

特別養護老人ホーム及び短期入所生活介護施設の従来型個室料金を設定するとともに、金銭等管理サービス費を適正な料金に改めた。また、各施設の稼働率、収支状況の一元的把握を行い、法人経営基盤の安定化をめざした。

(9) 施設整備計画の推進

地域の介護サービスへの需要に応えるとともに経営の安定を図るため、特別養護老人ホームあつかし荘の20床の増築を計画した。平成28年度は設計及び施工管理業務を委託し、平成30年9月開所をめざす。また、ケアハウス広瀬の特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護の指定に係る施設整備計画を実施し、運営規程の制定等整備を行い、平成29年4月1日に開所した。

(10) 事務

社会福祉法人会計基準の一部改正及び社会福祉法人における入札契約等の取扱いの見直しに伴い、経理規程の一部を改正した。また、3施設共通物品の法人一括契約を行い、経費の節減に努めた。

Ⅱ 各施設事業報告

1 あつかし荘

(1) 特別養護老人ホームあつかし荘・あつかし荘短期入所生活介護（ショートステイ）

- ①リスクマネジメント委員会が中心となり、「事故」・「ヒヤリ・はっと」状況の報告・検討を行い、全職員で情報を共有し、多職種連携にて事故防止に努めることができた。
- ②認知症介護委員会を中心に、特定利用者の事例検討を行い、認知症高齢者への理解及び関わり方のポイントを職員間で再確認することで、多職種協働による認知症ケアを展開できた。
- ③歯科衛生士の定期的な訪問により、利用者に対する専門的なアドバイスに基づく口腔ケアを実施し、利用者の健康維持のための支援をすることができた。さらに多職種協働により利用者の経口摂取維持への取り組みを図ることができた。
- ④栄養マネジメントにおけるモニタリングや会議を通して、多職種の意見を取り入れることにより、利用者の咀嚼や嚥下の状況に応じて食事形態や調理方法を見直し、利用者一人一人の状態に合わせたより良い食事提供ができた。
- ⑤特定個人情報の安全管理や安全衛生管理を含む関係諸法令の遵守、徹底に努め、利用者が安全かつ快適に利用できる施設、また職員のストレスチェックの実施など、安全かつ働きがいを持って働ける環境づくりに努めた。
- ⑥施設会計における収支状況を的確に把握し、意識的に経費削減やコス

ト削減に努め、経営シミュレーションに基づく安定した経営と更なる基盤強化を図ることができた。

- ⑦特別養護老人ホームあつかし荘増築に係る施設整備計画を策定の上、実施設計業務を委託し完成品を受領した。
- ⑧利用者が安全かつ快適に施設サービスを利用するために、施設内設備機器の保守管理を適正に行った。
- ⑨人事考課制度における個人面接を丁寧に行い、職員の職位にあった目標設定支援を通し、職員個人の働く意欲向上に結びつけることができた。
- ⑩スライディンググローブ（摩擦軽減手袋）とスライドシート（滑る布）を導入し、体位変換や移乗介助など持ち上げない介護を推進し、職員が安全かつ効率的に介護業務が行えるよう努め、腰痛予防の一助となった。
- ⑪法人キャリアパス要件に基づく研修計画を策定し、外部研修への参加や年3回の全体会を企画し、職員の資質向上及び組織の一員としての学びに積極的に取り組んだ。

2 梁川ホーム

（1）梁川ホーム全事業

- ①各事業所直通専用ダイヤル及び携帯転送機能付き電話システムを取り入れたことにより、利用者、家族からの相談、要望、ニーズに対して24時間、迅速できめ細やかに対応することが可能となった。
- ②総合老人福祉施設梁川ホームとして、学生ボランティアを対象にした認知症サポーター養成講座並びに地域向け認知症介護教室、地域密着型デイサービス運営推進会議の開催、介護家族への相談対応など、地域社会に向けた認知症介護の情報発信、還元の取り組みを推進した。
- ③リスクマネジメント活動の一環として危険予知に基づく事故の未然防止の取り組みを事業所・チームごとに推進するとともに、安全なサービス提供のためにマニュアルの見直し改訂を行った。また毎月監督職以上を対象に学習会を実施し事故防止に対する意識向上を図った。
- ④防災マニュアル、非常通報連絡網の見直し、施設の設備・機械器具定期点検の徹底により、施設の消防・防災・安全管理体制の強化を図った。
- ⑤職員の資質向上、キャリアアップ支援のため、外部研修への積極的派遣に加え、内部研修として講師を招いたコミュニケーション研修会、雇用管理改善セミナー等を複数回開催した。

- ⑥安全衛生委員会の定期開催により快適な職場環境の確保と健康増進に努めるとともに、ストレスチェック制度の実施により、職員の心身の状態把握と不調予防に努めた。
- ⑦事業の中・長期的な経営シミュレーション、予算執行状況の把握を通して、管理・監督職をはじめとした職員の経営感覚・経費節減意識の向上に努めた。

(2) 特別養護老人ホーム梁川ホーム

- ①多職種による自立支援の取り組みが成果をあげ、おむつゼロや常食化の目標数値へ近づくことができた。また利用者の排便を多職種が共に考え、下剤薬を使用しない自然な排便方法もほぼ確立し、個別の排泄用具等の検討も重ね利用者一人ひとりに応じた排泄ケアに努めた。
- ②感染症予防の基本対策の徹底に加え、加湿システムによる安定的な湿度管理により感染症の蔓延防止に努めることができた。
- ③利用者の嚥下機能に応じた食事提供と状態観察、安全な姿勢保持と口腔内の清潔保持に努めた結果、誤嚥事故や誤嚥性肺炎を予防できた。
- ④嚥下食の分類に基づいた施設の食事基準表を作成し、医療機関や在宅で食べていた食事形態の確認や利用者個々の必要栄養量の把握が明確となり、施設内の事業所（特養、短期、デイ）で活用することができた。
- ⑤機能訓練指導員による集団リハビリ、個別リハビリに加え、多職種協働での生活リハビリやレクリエーションにより、利用者が体を動かすことを日常生活のなかの楽しみとし、また身体機能の維持向上を図ることができた。
- ⑥その人らしく最期の時が迎えられるよう家族と話し合い、利用者の気持ちに寄り添うとともに、多職種による随時カンファレンス開催や主治医との連携により利用者一人ひとりの看取り介護を考え実施することができた。

(3) 梁川ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）

- ①利用者、家族の要望に応えられるよう、サービス担当者会議等に積極的に参加した。また、多様化する利用者のニーズに対し、各部署の協力を得て柔軟に応じることができた。
- ②できるだけ多くの方に安全・安心に利用して頂き、在宅での生活を継続できるように心掛け、リスク対策として事故が起きた場合は要因分析と再発防止に努め、重大事故をゼロにすることができた。感染症に対しては、利用前に症状の有無を確認し感染症の発症を予防することができた。

- ③利用者がスムーズに利用できるよう、面接、カンファレンスを行い、デイサービスを利用されている方は利用中の様子を確認し、不安なく利用して頂くように努めた。また、家族、ケアマネとの間で情報共有を行い利用者の状態を把握、利用中変化があればすぐに報告し適時・適切な対応に努めた。

(4) ケアハウス広瀬

- ①特定施設の指定を受けるべく、施設設備・機器や人員体制など平成29年4月開設に向けての準備を行った。
- ②利用者の従来你的生活状況、家庭状況および心身の健康状態等について把握し、入居後は利用者、家族の相談に応じるとともに適切な助言等に努めた。
- ③認知症の予防対策として毎日の日課に運動やゲームなどを取り入れることができた。
- ④感染症への対策として、利用者に手洗い・うがいの重要性和マスクの着用を呼びかけ、インフルエンザ、ノロウィルス感染をゼロに抑えることができた。
- ⑤利用者同士が親睦をはかり、生きがいや心の安寧が得られるよう、県北軽費老人ホーム大会の輪投げ競技会への参加、バスハイク・紅葉狩り・買い物ツアーの実施、季節ごとの料理づくり、地域サロン会への出席などの行事を行った。

(5) 梁川ホーム通所介護（デイサービスセンター）

- ①デイサービスⅡ型において地域密着型通所介護として、定期的に梁川ホームデイサービスセンター運営推進会議を開催し、家族、地域代表の方等からの助言や要望を聞くことに努めた。
- ②ミーティングやサービス担当者会議の報告・申し送りノートを活用し、職員間で情報の共有を図り、きめ細やかに対応することができた。
- ③見学者が数組あり見学後の利用につながった。また空き情報のお知らせを定期的に発信したことにより、新規利用者を紹介して頂くことができた。
- ④毎月の調理機能訓練・手仕事を通して、個々の能力の維持・向上を図ることができ、また暖かい時期には定期的にドライブを実施するなど楽しみをもって利用いただけるよう努めた。

(6) 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

- ①毎週の事例検討を通し、支援の視点や方法等を共通理解することでアセスメント力の向上に努め、職員個々の支援方法の振り返りもすることができた。また外部研修や病院主催の連携カンファレンス等へ積極

的に参加し知識を深めることができた

- ②在宅での看取りが増え、医療と介護の連携を図ることが必須となり、ケアチームの重要性を一層理解することができた。
- ③施設の認知症介護委員会への出席、在宅での認知症カフェや認知症初期集中支援チーム等の活動により、地域での自分たちの役割を実践することができた。
- ④地域包括ケアについての知識習得や現状の理解に取り組むことができた。尚、他機関との連携や職員個々の意識の向上は今後も重点課題であり改善を図っていく。

(7) 伊達市梁川地域包括支援センター

- ①地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活でき、また、できる限り自立した日常生活を継続できるよう、伊達市梁川方部民生児童委員協議会、近隣居宅介護支援事業所、病院など関係機関との連携を図りながら、要支援者や事業対象者のマネジメントを行い、支援に努めた。
- ②伊達市第6次保健福祉計画に基づく地域包括支援センターの役割を遂行し、また、地域支援連絡会を通じて介護支援専門員相互の情報交換等を行い地域の実態把握に努めるとともに、勉強会や研修会を重ね互いの連携を密にし困難事例の支援等に努めた。
- ③地域住民の認知症に対する関心の高まりが見られ、認知症カフェ、また認知症に関する講話活動や相談支援などの情報提供の場を多く開催した。また出前講座での講話活動や認知症サポーター養成講座の開催等、地域内の住民活動に関わり、地域の介護予防に対する啓発を進めることができた。
- ④虐待の通報はなかったが、疑いのある家庭に訪問し実態を把握し、伊達市への結果報告を行った。消費者被害の相談についても報告を行った。

3 川俣ホーム

(1) 川俣ホーム全事業

- ①全職員対象・地域対象の認知症サポーター養成講座をそれぞれ開催し、また地域への講師派遣も行い、職員の認知症ケアの理解を深めるとともに地域の認知症ケア推進に貢献することができたほか、ボランティアの積極的受入れも行い、地域との交流・連携を深めた。
- ②感染症が懸念される時期においては、利用者・職員・家族・地域の情報収集を密に行ない、感染予防対策および拡大防止に努めた。
- ③積極的な外部研修参加および介護職員の喀痰吸引研修など多職種連携

での内部研修を行ない、職員全体の知識・技術向上に努めた。

- ④事故の未然防止のためにヒヤリ・はっと報告の提出に努めてリスクの高い利用者の情報共有と事前対策を実施し、再発予防をすることができた。
- ⑤職員健康診断の実施と看護師による個別のアドバイス、ストレスチェックの実施により、一人一人が健全に働きやすくなるよう職場環境づくりと心身の健康づくりに努めた。

(2) 特別養護老人ホーム川俣ホーム・川俣ホーム短期入所生活介護（ショートステイ）

- ①満足度調査を継続し、接遇に対する意識を高め、利用者との関わりや家族面会時の近況報告を積極的に行ない、信頼関係を深めるように努めた。また、家族あてに年2回利用者の状態報告を兼ねたお便りを送付し、家族の安心と情報共有を図ることができた。
- ②朝夕の申し送り、栄養ケアなど各種検討の場で共有された利用者の状態変化に多職種で早期に対応することにより、褥瘡発症者や入院者数が減少し利用者の安定した生活につながった。
- ③随時入所上位待機者の実態調査を行い、関係機関と連絡を取り合いながら状態把握に努め、円滑な入所支援を進めた。
- ④各居宅事業所と連携を図り、短期入所の円滑な受け入れや送迎時間の配慮を行い利用の促進に努めた。
- ⑤食事の姿勢や嚥下状態について外部研修及び内部研修で学んだことを実践し、ソフト食のメニューを増やしたと併せて利用者に安全でバラエティに富んだ食事をしていただけるよう努めた。
- ⑥施設設備の計画的修繕と臨機の修繕を滞りなく行い、利用者の生活環境の維持改善に努めた。

(3) 川俣ホーム通所介護（デイサービスセンター）

- ①その方に必要な支援は何かを見極め、見守りや声掛けを行うことで、自分でできることを最大限に活かした介助を行うように努めた。
- ②地域住民を対象にした認知症サポーター養成講座と見学会を行い、家族介護者支援を行った。
- ③認知症対応型サービスにおいては運営推進会議を開催し、利用者、家族、地域住民への積極的情報開示や懇談を通して地域に開かれた事業所づくりに努めた。

Ⅲ 各施設利用状況等

特別養護老人ホーム

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			利用者平均要介護度			営業日数(日)		
		28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比
あつかし荘	50	17,920	18,034	-114	98.2	98.5	-0.3	4.37	4.52	-0.15	365	366	-1
梁川ホーム	80	29,333	29,146	187	99.5	98.2	1.3	4.08	4.20	-0.12	365	366	-1
川俣ホーム	60	21,519	21,481	38	98.3	97.8	0.5	4.18	4.08	0.10	365	366	-1
法人計	190	68,772	68,661	111	99.2	98.2	1.0	4.21	4.27	-0.06			

ショートステイ ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			ベッド稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			営業日数(日)		
		28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比
あつかし荘	2	716	759	-43	98.1	103.7	-5.6	2.0	2.1	-0.1	365	366	-1
梁川ホーム	20	5,335	5,258	77	75.9	76.1	-0.2	14.6	14.4	0.2	365	366	-1
川俣ホーム	20	5,917	6,044	-127	81.1	82.6	-1.5	16.2	16.5	-0.3	365	366	-1
法人計	42	11,968	12,061	-93	78.1	80.4	-2.3	32.8	33.0	-0.2			

デイサービスセンター ※介護予防含む

事業所名	定員 (人)	延べ利用人数(人)			稼働率(%)			1日平均利用者数(人)			開所日数(日)		
		28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比
梁川ホームⅠ型	25	6,671	6,323	348	86.4	81.6	4.8	21.6	20.4	1.2	309	310	-1
Ⅱ型	12	2,708	2,827	-119	73.0	76.0	-3.0	8.8	9.1	-0.3	309	310	-1
川俣ホームⅠ型	20	5,137	5,058	79	83.1	81.8	1.3	16.6	16.4	0.2	309	309	0
Ⅱ型	12	2,495	2,482	13	67.3	66.9	0.4	8.1	8.0	0.1	309	309	0
法人計	69	17,011	16,690	321	79.8	78.0	1.8	55.1	53.8	1.2			

ケアハウス

事業所名	定員 (人)	月初日平均入居者数(人)			稼働率(%)			営業日数(日)		
		28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比
ケアハウス広瀬	30	26.6	26.8	-0.2	88.7	89.4	-0.7	365	366	-1
法人計	30	26.6	26.8	-0.2	88.7	89.4	-0.7			

居宅介護支援事業所

事業所名	要介護認定調査(件)			居宅サービス計画作成の相談依頼(件)			居宅サービス計画作成(件)		
	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比
梁川ホーム	99	182	-83	2,264	2,301	-37	2,096	2,135	-39
法人計	99	182	-83	2,264	2,301	-37	2,096	2,135	-39

地域包括支援センター

事業所名	相談延べ件数(件)			訪問件数(件)			介護予防サービス計画作成(件)			地域講座(件)		
	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比	28年度	27年度	前年度比
伊達市梁川地域包括支援センター	1,711	2,193	-482	673	234	439	2,270	2,112	158	19	12	7
法人計	1,711	2,193	-482	673	234	439	2,270	2,112	158	19	12	7

事業報告の附属明細書

平成28年度 梁川ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
平成28年 4月	(人) 3	(人) 0	(人) 3	(人) 51	(人) 13	(人) 4	(人) 2	(人) 2	(人) 3	(人) 0	(人) 0	(人) 81	(人) 1	(人) 1
5月	3	0	3	51	13	4	2	2	3	0	0	81	1	1
6月	3	0	3	50	13	4	2	2	3	0	0	80	0	1
7月	3	0	3	50	13	5	2	2	3	0	0	81	1	0
8月	3	0	3	50	13	5	2	2	3	0	0	81	2	2
9月	3	0	3	51	12	4	2	2	4	0	0	81	3	3
10月	3	0	3	50	12	4	2	3	4	0	0	81	1	1
11月	3	0	3	49	12	4	2	3	5	0	0	81	1	1
12月	3	0	3	49	11	4	3	3	5	0	0	81	2	2
平成29年 1月	2	0	3	49	11	4	3	3	5	0	0	80	1	1
2月	1	0	2	50	11	4	3	3	5	0	0	79	1	2
3月	1	0	2	51	11	4	3	3	5	0	0	80	1	0
合 計	31	0	34	601	145	50	28	30	48	0	0	967	15	15

※月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
平成28年 4月	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 320	(日) 25	(日) 25	(日) 3	(日) 0	(日) 40	(日) 0	(日) 0	(日) 413	(人) 13.8	(%) 72.5
5月	0	0	0	346	45	25	0	0	46	0	0	462	14.9	78.4
6月	0	0	0	342	37	44	0	0	45	0	0	468	15.6	82.1
7月	0	0	0	355	32	44	6	0	45	0	0	482	15.5	81.8
8月	0	0	0	362	31	45	10	0	24	0	0	472	15.2	80.1
9月	0	0	0	347	28	32	10	0	11	0	0	428	14.3	75.1
10月	0	0	0	369	22	25	5	0	22	0	0	443	14.3	75.2
11月	0	0	0	385	22	23	7	0	16	0	0	453	15.1	79.5
12月	0	0	0	355	27	11	0	0	13	0	0	406	13.1	68.9
平成29年 1月	0	0	0	355	20	14	7	0	22	0	0	418	13.5	67.4
2月	0	0	0	342	34	14	7	2	15	0	0	414	14.8	73.9
3月	0	0	0	392	37	13	4	4	26	0	0	476	15.4	76.8
合 計	0	0	0	4270	360	315	59	6	325	0	0	5335	14.6	75.9

事業報告の附属明細書

平成28年度 川俣ホーム市町村別・月別利用状況

特養

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	計	月内の異動	
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町						入所	退所
平成28年 4月	(人) 4	(人) 5	(人) 1	(人) 0	(人) 1	(人) 3	(人) 8	(人) 0	(人) 0	(人) 34	(人) 4	(人) 60	(人) 1	(人) 1
5月	3	5	1	0	1	3	8	0	0	35	4	60	1	2
6月	3	5	1	0	1	3	7	0	0	35	4	59	2	1
7月	2	5	1	0	1	3	7	0	0	37	4	60	2	2
8月	2	5	1	0	1	3	8	0	0	36	4	60	1	1
9月	2	4	1	0	1	3	8	0	0	37	4	60	2	2
10月	2	4	1	0	1	3	6	0	0	39	4	60	0	1
11月	2	4	1	0	1	3	6	0	0	38	4	59	1	0
12月	2	4	1	0	1	3	6	0	0	39	4	60	0	0
平成29年 1月	2	4	1	0	1	3	6	0	0	39	4	60	1	1
2月	2	4	1	0	1	3	6	0	0	39	4	60	1	2
3月	2	4	1	0	1	3	6	0	0	38	4	59	2	1
合 計	28	53	12	0	12	36	82	0	0	446	48	717	14	14

※月月初日の入所者数

短期入所生活介護

市町村別 月別	福島市		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	その他	合計	1日平均人数	ベッド稼働率
	福島市	旧飯野町	旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧霊山町	旧月舘町					延日数		
平成28年 4月	(日) 0	(日) 43	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 0	(日) 12	(日) 0	(日) 0	(日) 338	(日) 6	(日) 399	(人) 13.3	(%) 66.5
5月	0	60	0	0	0	0	13	0	0	374	0	447	14.4	72.1
6月	0	61	0	0	0	0	12	0	0	377	0	450	15.0	75.0
7月	0	61	0	0	0	0	13	0	0	403	0	477	15.4	76.9
8月	0	49	0	0	0	0	4	0	0	478	2	533	17.2	86.0
9月	0	55	0	0	0	0	0	0	0	460	3	518	17.3	86.3
10月	0	52	0	0	0	0	6	0	0	401	2	461	14.9	74.4
11月	0	53	0	0	0	0	6	0	0	393	2	454	15.1	75.7
12月	0	51	0	0	0	0	5	0	0	478	2	536	17.3	86.5
平成29年 1月	0	53	0	0	0	0	12	0	0	483	2	550	17.7	88.7
2月	0	44	0	0	0	0	18	0	0	452	2	516	18.4	92.1
3月	0	43	0	0	0	0	8	0	0	523	2	576	18.6	92.9
合 計	0	625	0	0	0	0	109	0	0	5160	23	5917	16.2	81.1